ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

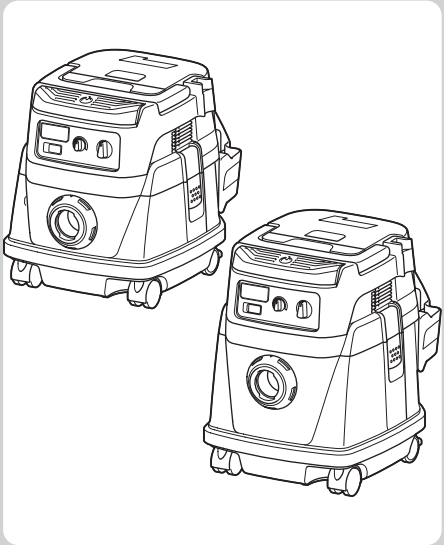
取扱説明書

充電式集じん機

モデル VC867D

モデル VC157D

（粉じん専用・無線連動機能付き）



このたびは**充電式集じん機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 3
充電式集じん機の使用上のご注意 …… 11
ワイヤレスユニットの使用上のご注意 …… 13
各部の名称と標準付属品 …… 15
別販売品のご紹介 …… 16
パウダフィルタの使い方 …… 18
・パウダフィルタの取り付け方（高性能パウダフィルタも同様）
・ポリ袋の取り付け方
・粉じんの捨て方
・パウダフィルタのお手入れ
ツールボックスの使い方 …… 22
・ツールボックスの取り付け方
・ツールボックスの使い方
ホースの取り付け方 …… 23
・ホースの取り付け方
バッテリ（別販売品）について …… 24
スイッチの操作 …… 26
無線連動機能（AWS） …… 27
・無線連動の準備
・無線連動
・機器登録
・登録解除
・登録全消去
・無線ランプについて
・トラブルシューティング
バッテリ残容量表示機能 …… 36
保護機能 …… 37
・本製品およびバッテリの保護機能
故障かな？と思ったら …… 38
運搬・収納 …… 39
・取っ手の使用方法
・キャスタの固定・解除
・バイプホルダへの収納方法
・ホースの収納方法
別販売品の使い方 …… 41
・クロスフィルタの取り付け方
・水用フィルタの取り付け方
・クロスフィルタのお手入れ
・紙パックの取り付け方
保守・点検について …… 45
・本製品のお手入れ
・保管場所について
・ご修理の際は

主要機能

モデル 主要機能	VC867D	VC157D
電動機	DC ブラシレスモータ	
使用可能バッテリ	バッテリ BL1815N（容量 1.5 Ah） バッテリ BL1820B（容量 2.0 Ah） バッテリ BL1830（容量 3.0 Ah） バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah） バッテリ BL1840（容量 4.0 Ah） バッテリ BL1850（容量 5.0 Ah） バッテリ BL1850B（容量 5.0 Ah） バッテリ BL1860B（容量 6.0 Ah）	
電圧	直流 36 V（18 V × 2）	
最大風量	1.3 m^3/min（φ 28 mm × 5.0 m ホース装着時）	
最大真空度	11 kPa	
最大吸込仕事率	75 W（φ 28 mm × 5.0 m ホース装着時）	
集じん容量	8 L	15 L
本製品寸法	長さ 366 mm ×幅 334 mm ×高さ 368 mm	長さ 366 mm ×幅 334 mm ×高さ 421 mm
質量※	8.3 kg	8.5 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※バッテリ BL1860B × 2 個取付時

バッテリアダプタ類について

- 本製品はバッテリアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

安全上のご注意

JPA002-65

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
・ バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

⚠警告

2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

10.充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11.充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式集じん機の使用上のご注意

JPB241-6

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護メガネを使用してください。
   - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 爆発性および発火性の環境下では使用しないでください。
4. 以下のものは吸わせないでください。

   引火性物質
   - 油類（灯油・ガソリンなど）
   - 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
   - マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸い殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
   - トナーなどの可燃物
   - 塗料
   - 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
   - 可燃性ガス（スプレーなど）
   - じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

   爆発性物質
   - ニトログリセリンなど

   発火性物質
   - アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

   鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

   固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

   除湿剤

   大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

   人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

   薬品類

   液体や湿ったゴミ（粉じん専用集じん機の場合）

   動物などの排泄物、吐しゃ物
5. 排気口をふさがないでください。
   - モータが焼損し、火災の原因になります。
6. 本製品を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
   - 感電や故障の原因になります。

⚠警告

7. 転倒などによる本製品の変形、破損防止のため、本製品は静かに移動してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
・ 過熱による本製品の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
・ 本製品の変形の原因になります。
3. 本製品上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
・ 急に本製品が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
4. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
・ モータ焼損など、故障の原因になります。
5. フロートが作動したまま運転しないでください。
例：作業者がいない状態でポンプとして使用する。
・ モータの温度が上昇し、部品の変形やモータ焼損など、故障の原因になります。
6. クロスフィルタで繰り返し大量の吸水をすると吸水量が著しく低下します。繰り返し大量の吸水をする場合は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタの使用をおすすめします。
7. 湿式ノズルを使用する場合は、本製品取り付けのクロスフィルタの代わりに水用フィルタを必ず使用してください。
・ 本製品の故障の原因になります。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

JPB257-2

集じん機に内蔵されているワイヤレスユニットは取りはずしはできません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

1. バッテリが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50℃を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
    - 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

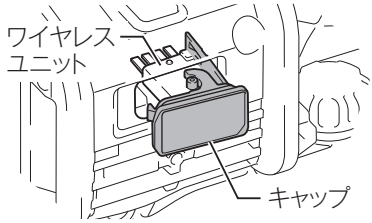
⚠警告

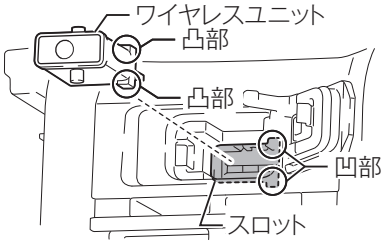
20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
- 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。

21. 無線連動の有効距離は約 10 mです。ただし、工具と集じん機の間に障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
- 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

⚠注意

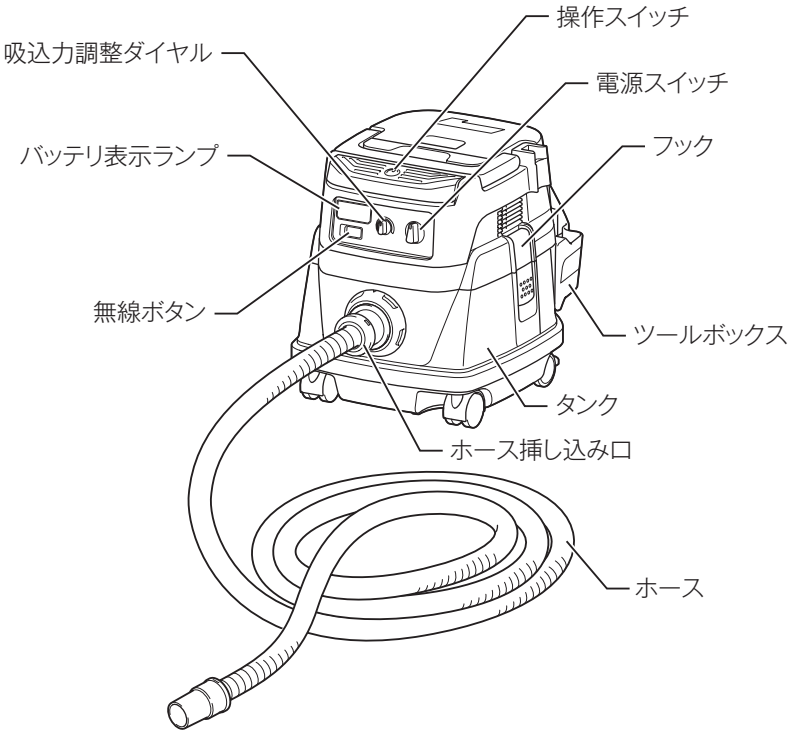
1. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリを抜いてから行ってください。
2. ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を併せて参照してください。
3. 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
4. スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
5. ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
6. ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に挿し込まないでください。
7. キャップが開いた状態で使用しないでください。





※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

各部の名称と標準付属品



モデル / 標準付属品	VC867DZ	VC157DZ
ホース（φ 28 mm × 5.0 m）	○	○
カフス 22	○	○
ジョイント H	○	○
アクセサリバッグ	○	○
ツールボックス	○	○
ポリ袋（650 mm × 650 mm）（本製品取り付け、1 枚）	○	○
ポリ袋セット品（650 mm × 650 mm）（10 枚入）	○	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

部品名称	部品番号
バッテリ BL1815N（容量 1.5 Ah） バッテリ BL1820B（容量 2.0 Ah） バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah） バッテリ BL1850B（容量 5.0 Ah） バッテリ BL1860B（容量 6.0 Ah）	A-60311 A-61715 A-60442 A-59900 A-60464
水用フィルタ （水、湿った粉じんなどを吸引するときにご使用ください。） **注** ・ **水用フィルタを取り付けて湿式でご使用になる場合は、別販売品のフロート、フロートケイジを併用してください。また、フロートケイジとフロートの取り付けは、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。**	A-50522
湿式ノズル（湿式用） **注** ・ **湿式ノズルを使用するときは、別販売品の水用フィルタを必ず使用してください。本製品の故障の原因となります。**	A-47846
クロスフィルタ	A-50479
パウダフィルタ（標準付属品） （粉じん用。コンクリート、石材の粉じんなど、細かいものを吸引するときにご使用ください。プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。）	A-50491
高性能パウダフィルタ （粉じん用高性能フィルタ。プレフィルタとダンパを併用してください。吸水はできません。）	A-59374
プレフィルタ（標準付属品） （粉じん用。パウダフィルタ、ダンパとセットでご使用ください。）	A-50485
ダンパ（標準付属品） （粉じん用。パウダフィルタ、プレフィルタとセットでご使用ください。）	A-50516

別販売品のご紹介

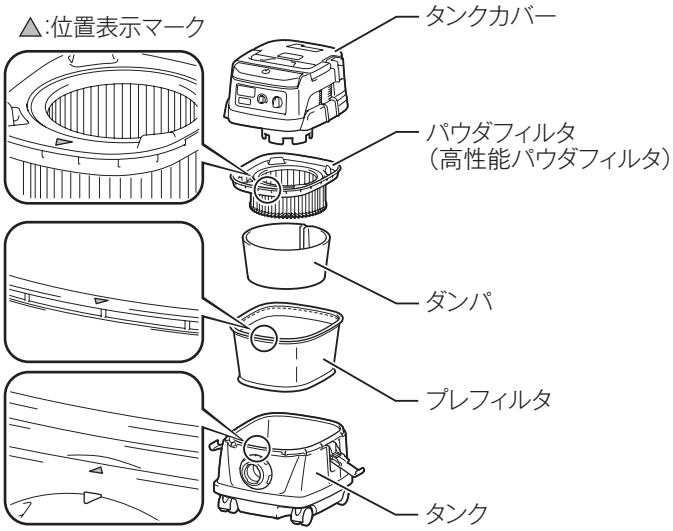
部品名称		部品番号
ホースコンプリート 38-1.5		A-59807
右欄の部品はホースコンプリート38-1.5専用	・ノズルアッセンブリ	122512-4
	・ノズルアッセンブリ A（乾式用）	122334-2
	・薄型切替ノズル（集じん機用）	A-70764
	・コーナーノズル	410306-2
	・ストレートパイプ ストッパ　部品番号：451350-0、 ナベ小ネジ M4 × 20　部品番号：911138-5 ※ナベ小ネジはストッパをストレートパイプに固定するために使用します。	192563-1
	・ベンディングパイプ	197247-6
	・ラウンドブラシ	191657-9
ホースコンプリート 32-1.7/ ホースコンプリート 38-1.5		A-68127/ A-67739
右欄の部品はホースコンプリート32-1.7/38-1.5専用	・ロック付きベンディングパイプ	140G26-3
	・ロック付き伸縮パイプ（樹脂） ストッパ　部品番号：451350-0 ナベ小ネジ M4 × 20　部品番号：911138-5 ※ナベ小ネジはストッパをストレートパイプに固定するために使用します。	127605-2
	・ロック付き伸縮パイプ（アルミ） ストッパ　部品番号：451350-0 ナベ小ネジ M4 × 18　部品番号：911133-5 ※ナベ小ネジはストッパをストレートパイプに固定するために使用します。	140G19-0
	・薄型切替ノズル（クリーナ用）	A-70758
	・フリーノズル	A-60654
アンカーノズル （内径φ28 mmのホース（カフス22）を併用してください。）		192236-6
紙パック（5 枚入） （紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。） 乾式ゴミ（粉じん以外）用		A-48430
紙パック（5 枚入） （紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで清潔にゴミ捨てができます。吸水はできません。） 乾いた粉じん専用		A-49541
アクセサリバッグ （ホースなどの付属品をまとめて入れておくことができます。）		A-46040

パウダフィルタの使い方（1/4）

⚠ 警告

各種フィルタやポリ袋の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

パウダフィルタの取り付け方（高性能パウダフィルタも同様）



1. タンクにプレフィルタを入れます。
2. ダンパをパウダフィルタに装着してからプレフィルタの中に収めます。
3. パウダフィルタ、プレフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けます。
4. タンクカバーを取り付けます。

注

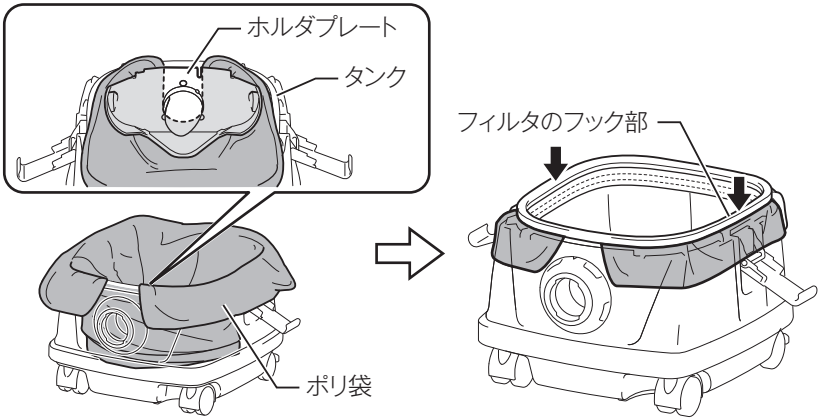
・ パウダフィルタ使用時は必ずプレフィルタとダンパを併用してください。パウダフィルタ単品では取り付けることはできません。

パウダフィルタの使い方（2/4）

ポリ袋の取り付け方

・ 本製品はポリ袋なしでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てがポリ袋を使用することにより手も汚れずに簡単に行えます。

1. ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をホルダプレートとタンクの間にはめ込み、タンクの口元まで引っ張ります。
2. ポリ袋をタンクの口元にそって広げます。
3. フィルタのフック部がポリ袋をしっかりはさみ込むようにセットします。



注

・ 市販品のポリ袋（45 L）が使用可能です。ただし、厚さ 0.04 mm 以上のものをおすすめします。また、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

パウダフィルタの使い方（3/4）

⚠ 警告

粉じんを捨てる際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

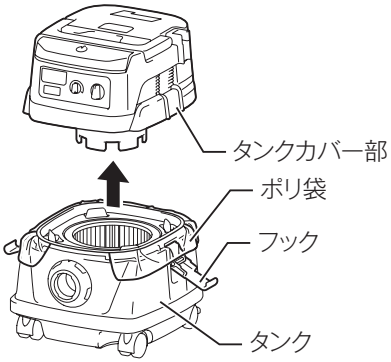
パウダフィルタやタンクに強い衝撃を与えないでください。
・ 変形・破損の原因になります。

粉じんの吸引量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日 1 回以上捨ててください。
・ 吸引量の低下やモータの故障の原因になります。

タンク内の粉じんを捨てるときは、フックを持たないでください。
・ フックが破損する原因になります。

粉じんの捨て方

1. フックをはずしてタンクカバーを上方へ引き上げます。
2. パウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタに付着した粉じんをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出します。



注

・ 粉じんの溜まったポリ袋を本製品から取り出す際はタンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取り出してください。
・ ポリ袋が破れる恐れがありますので、粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

パウダフィルタの使い方（4/4）

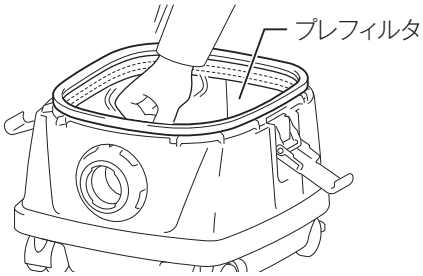
⚠ 警告

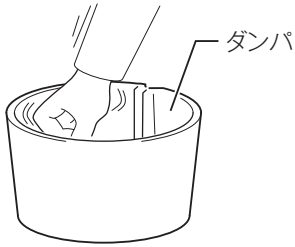
パウダフィルタのお手入れの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

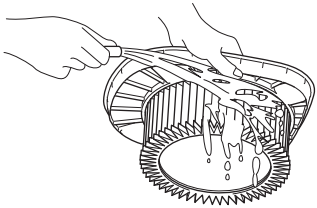
パウダフィルタのお手入れ

・ パウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパの目づまりは吸引力を著しく低下させますので、パウダフィルタなどに付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
・ チリ落としの方法はプレフィルタ、ダンパを手で軽くはたいてください。





・ パウダフィルタは水洗いができますので定期的（1 ～ 2 ヶ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はパウダフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

・ **ブラシ・ヘラなど硬いものでパウダフィルタ、プレフィルタ、ダンパをこすってキズを付けないようにしてください。**
・ **フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。**

ツールボックスの使い方

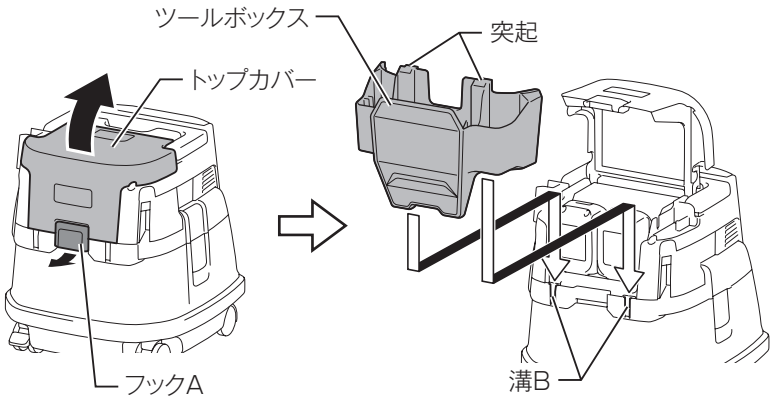
⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

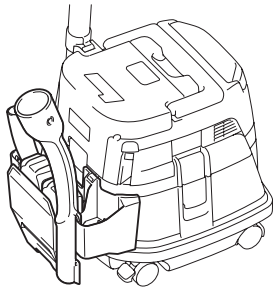
ツールボックスの取り付け方

1. フック A を引きながら、トップカバーを開きます。
2. ツールボックスの突起（2 か所）を溝 B（2 か所）にしっかり押し込みます。
3. トップカバーを閉じます。



ツールボックスの使い方

・ ツールボックスには、バッテリやパイプなどを収納することができます。



ホースの取り付け方

⚠ 警告

付属品の取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

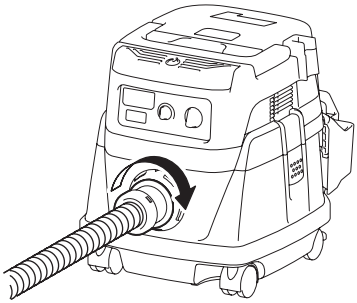
⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。

・ ホースの変形や破損などの原因になります。

ホースの取り付け方

・ タンク部のホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定してください。



バッテリ（別販売品）について（1/2）

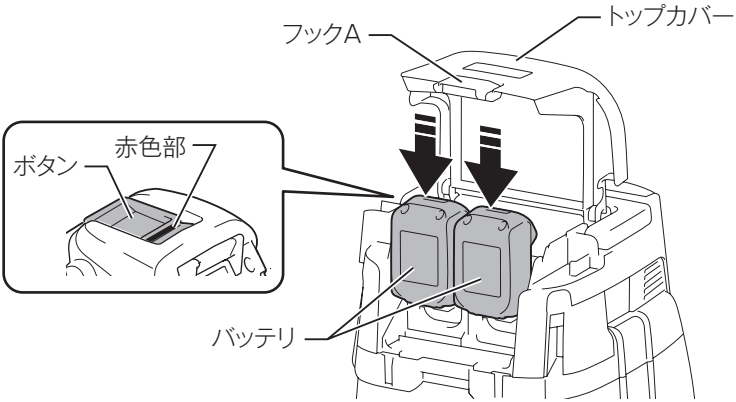
バッテリの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

・ フック A を引きながら、トップカバーを開きます。
・ 取り付けるときは、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。
・ バッテリを本製品から取りはずすときは、
  1. バッテリ正面のボタンを引き下げながら
  2. スライドさせると取りはずせます。



注

・ トップカバーの開閉時に、指をはさまないようにしてください。
・ 本製品には充電機能はありません。バッテリの充電には、充電器を使用してください。

バッテリ（別販売品）について（2/2）

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

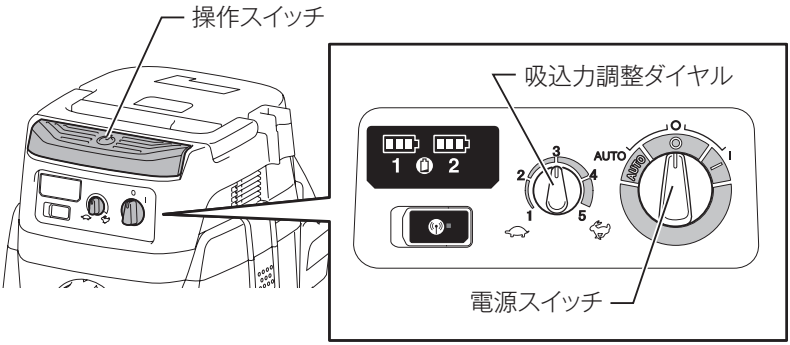
スイッチの操作

⚠ 警告

バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

1. 電源スイッチを「ON（I）」の位置にして電源を入れます。
   （「OFF（O）」の位置にすると電源が切れます）。
2. 操作スイッチを押すと運転し、再び押すと停止します。
3. 吸込力調整ダイヤルを回して吸込力の調整をします。吸込力はダイヤルを右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。

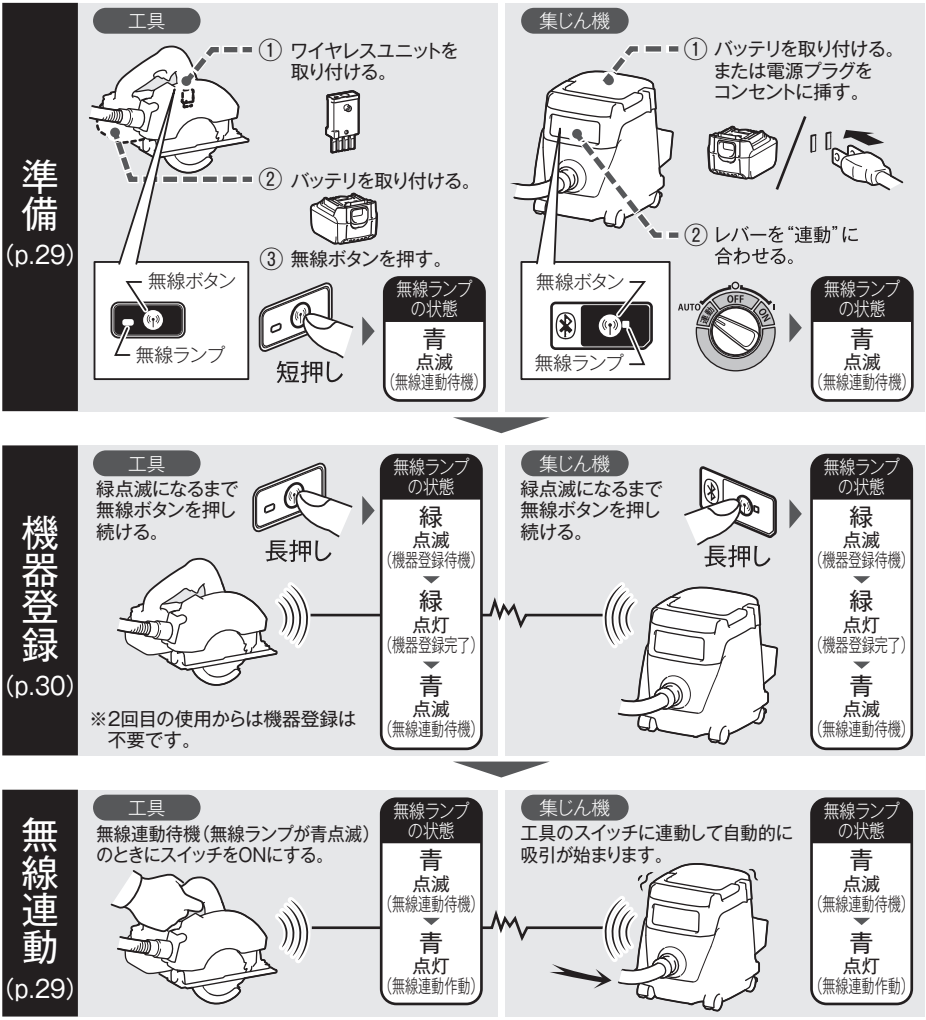


注

・ **吸込力調整ダイヤルは、目盛りの範囲内で回してください。範囲を超えて無理に回すと故障の原因になります。**

無線連動の手順概要

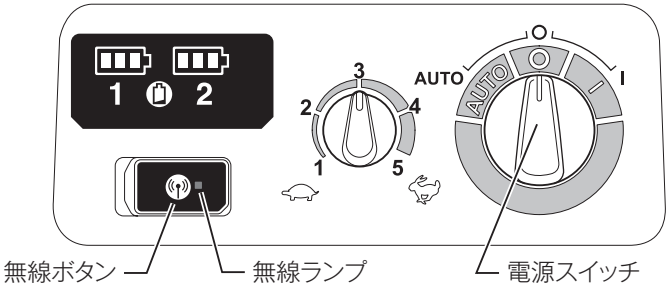
無線連動の大まかな手順は以下のとおりです。
工具、集じん機の操作はどちらが先でもかまいません。くわしい操作方法は各ステップの説明ページを参照してください。



※ 製品のイラストは参考例です。製品によりボタンや位置、その他デザインが異なります。
※ 無線ランプが青点滅中に、工具側の無線ボタンを短く押したり、集じん機側のレバーを連動以外にしたりすると無線連動が解除されます。

無線連動機能（AWS）（2/9）

- 無線連動機能（AWS）を利用するには、無線連動機能に対応したマキタ純正工具と集じん機が必要です。
- 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



Bluetooth® について

Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

無線連動機能（AWS）（3/9）

無線連動の準備

1. 集じん機の電源スイッチを「連動（AUTO）」の位置にして電源を入れます。
   集じん機の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。
   「OFF（O）」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。
   工具の無線ランプが青色点滅をしてお知らせします。

無線連動

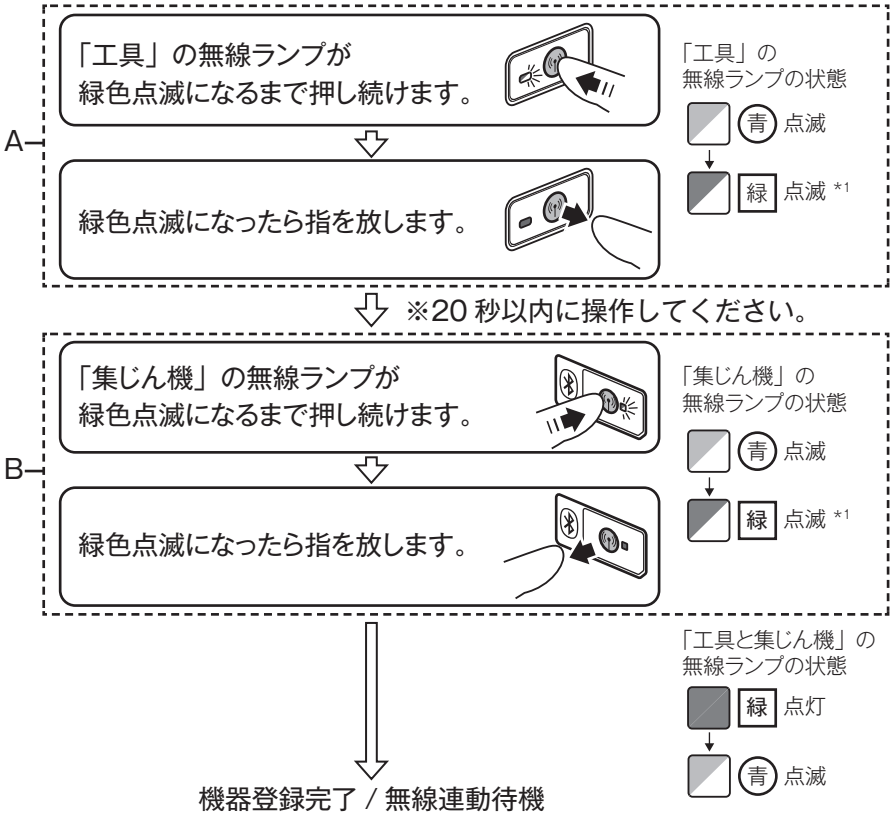
1. 無線連動させる工具には、以下のどちらかを行います。
   ①工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に機器登録する。
   （30 ページ参照）。
   ②機器登録をしたワイヤレスユニットを取り付ける。
2. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。
   無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

注

- 電源スイッチが「連動（AUTO）」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの運転 / 停止はできません。
- 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- 工具のスイッチを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。

機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（29 ページ参照）。

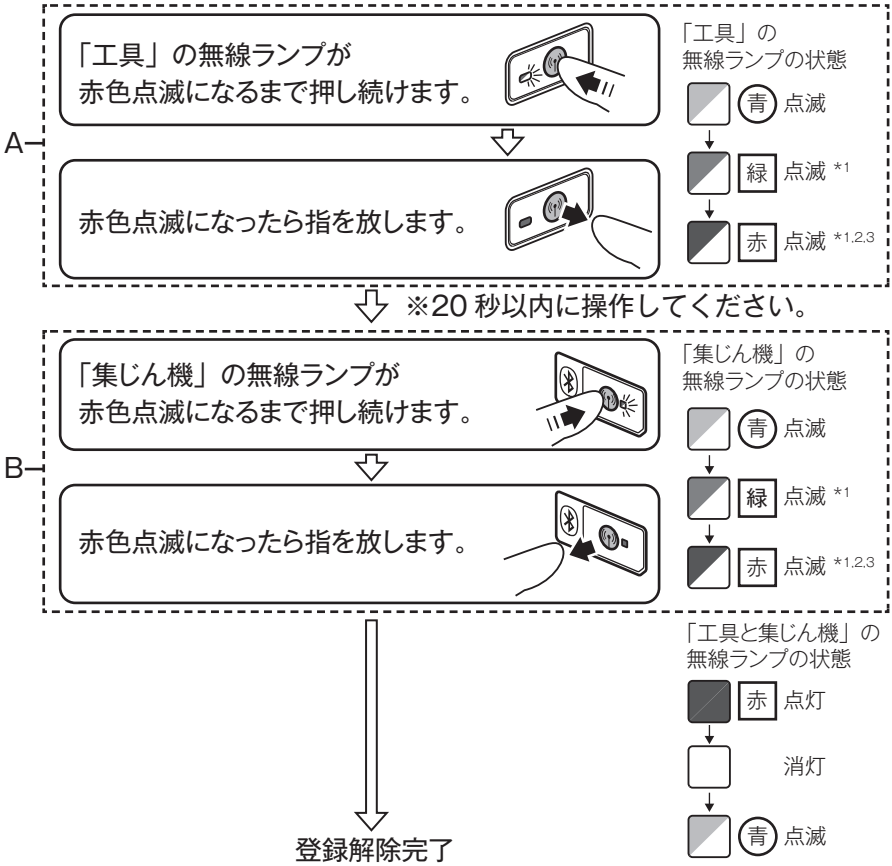


注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- *1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

登録解除

- 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（29 ページ参照）。

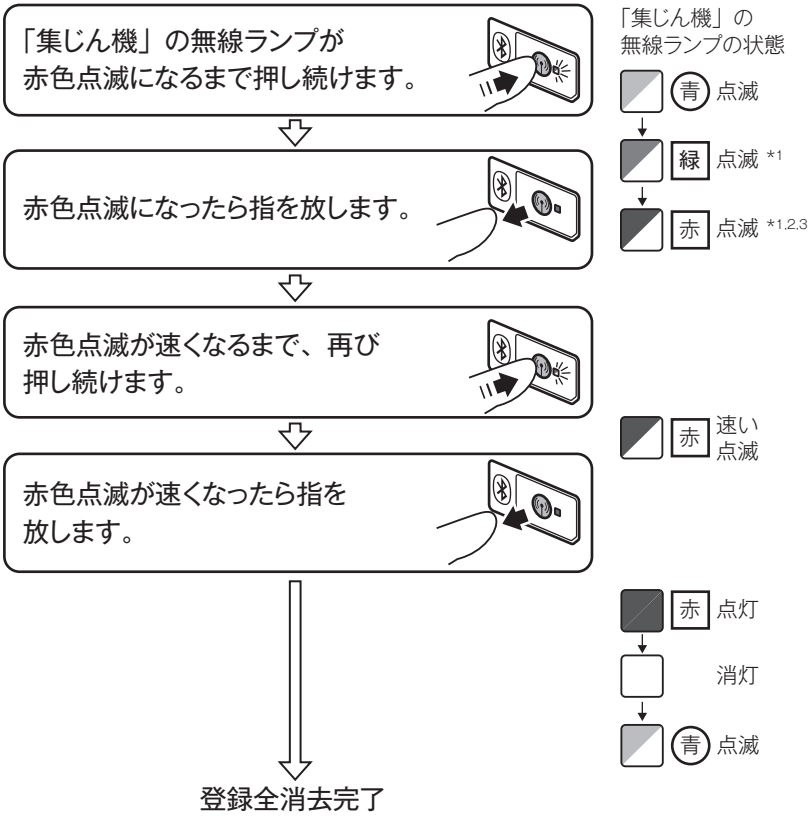


注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

登録全消去

- 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- 操作は集じん機のみで行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（29 ページ参照）。



注

- *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線ランプについて

<table>
<tr><th>基本モード</th><th>色</th><th colspan="2">点灯 / 点滅と継続時間</th><th>状態</th></tr>
<tr><td rowspan="5">待機</td><td rowspan="5">青</td><td rowspan="4">点滅</td><td>集じん機：
連動（AUTO）時</td><td rowspan="2">機器登録の待機中です。</td></tr>
<tr><td>工具：
電源を入れ、無線ボタンを押したとき</td></tr>
<tr><td>機器登録の完了後</td><td>無線連動の待機状態です。</td></tr>
<tr><td>工具：約 2 時間</td><td>無線連動機能が利用できます。
無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能が停止します。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>運転中のみ</td><td>無線連動機能中です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機器登録</td><td rowspan="2">緑</td><td>点滅</td><td>約 20 秒間</td><td>機器登録の準備中です。
登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>約 2 秒間</td><td>機器登録が完了しました。
その後、青色の点滅になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">登録解除・登録全消去</td><td rowspan="3">赤</td><td>遅い点滅
（2 回 / 秒）</td><td>約 20 秒間</td><td>登録解除の準備中です。
登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。</td></tr>
<tr><td>早い点滅
（5 回 / 秒）</td><td>赤色の点滅後に、再び無線ボタンを押し続けたとき</td><td>登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>約 2 秒間</td><td>登録全消去が完了しました。
その後、青色の点滅になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>赤</td><td>点灯</td><td>約 3 秒間</td><td>無線連動機能の起動中です。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>—</td><td>—</td><td>無線連動機能が停止しています。</td></tr>
</table>

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 14 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。⇒工具の取扱説明書参照
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 29 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		バッテリの容量が少ない。	バッテリを充電してください。
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 14 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 29 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・機器登録⇒ 30 ページ参照 ・登録解除⇒ 31 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください。（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します。）
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・機器登録⇒ 30 ページ参照 ・登録解除⇒ 31 ページ参照
	共通	集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

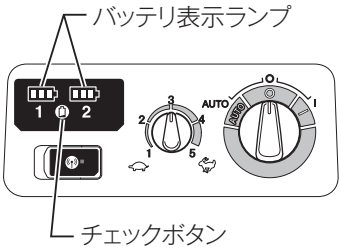
無線連動機能（AWS）（9/9）

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 14 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	集じん機のスイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 29 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・機器登録⇒ 30 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・機器登録⇒ 30 ページ参照
	共通	集じん機、または工具の電源が入っていない。	集じん機、工具ともに電源を入れてください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください。（最大通信距離は約 10 m。周囲の環境によって変化します）。
		バッテリの容量が少ない。	バッテリを充電してください。
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。
工具のスイッチを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録した、ほかの工具が集じん機と無線連動している。	・使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 31 ページ参照 ・登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・登録全消去⇒ 32 ページ参照 ・機器登録⇒ 30 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行ってください。⇒ 32 ページ参照
	集じん機	スイッチが「連動（AUTO）」になっていない。	集じん機のスイッチを「連動（AUTO）」にしてください。 ⇒ 29 ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 32 ページ参照

・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

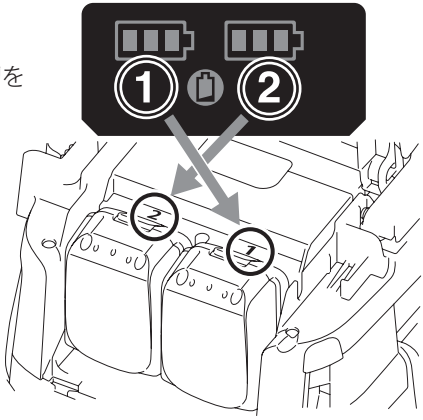
バッテリ残容量表示機能

・ 電源スイッチの位置にかかわらず、チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプがそれぞれのバッテリ残容量を表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:消灯　:点滅	バッテリ残容量
	50 % - 100 %
	20 % - 50 %
	0 % - 20 %
	充電してください

バッテリ表示ランプの数字「1、2」は、バッテリ取り付け部の数字側のバッテリを示します。



注

・ 電源スイッチが「連動（AUTO）」の位置で、無線連動運転中はチェックボタンを押してもバッテリ残容量は表示されません。

保護機能

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能

- **本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。**
  - 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
  - バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。

バッテリ表示ランプ	■: 点灯 □: 消灯 ◪: 点滅
	本製品の異常発熱

- **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。**
  - 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。

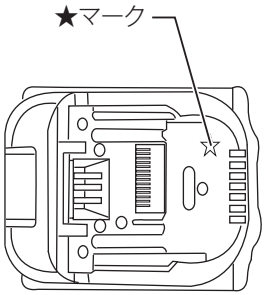
- **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。**
  - いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

注

- **過負荷の作業を連続して行って自動停止したときは、スイッチを操作しても再始動しない場合があります。その際は、バッテリの交換を知らせるランプが表示されます。バッテリをはずして充電してから本製品に取り付け、スイッチを入れてください。**

★マークについて

図のようにバッテリに★マークがあるバッテリは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

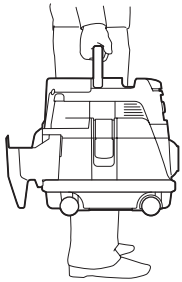
お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 37 ページ参照。

・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

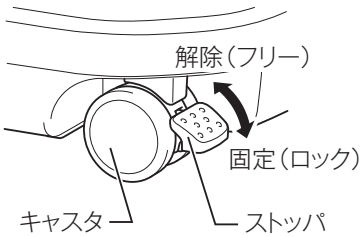
取っ手の使用方法

・ 運搬・移動する場合は、図のようにヘッド部の取っ手を持って行います。取っ手を使用しない場合はヘッド部に収納できます。



キャスタの固定・解除

・ キャスタ（ストッパ付き）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。
・ 本製品を収納する場合、作業を中断する場合、作業中など、本製品の動きを止めておきたい場合に便利です。
・ ストッパの操作は手で行ってください。

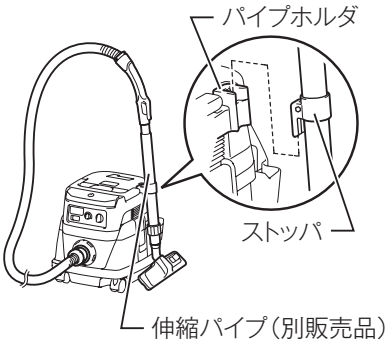


注

・ **本製品を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。**

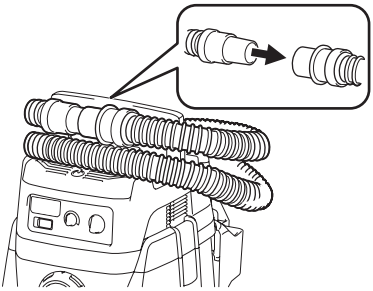
パイプホルダへの収納方法

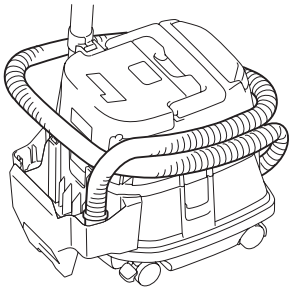
・ 伸縮パイプ（別販売品）のストッパをパイプホルダに挿し込んで固定できます。お掃除の中断時などに便利です。



ホースの収納方法

・ ホースの両端を接続したり、ツールボックスを利用した収納ができます。





注

・ パイプホルダに取り付けた状態の付属品に過度の力を加えないようにしてください。パイプホルダの破損の原因になります。

⚠ 警告

フィルタの取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

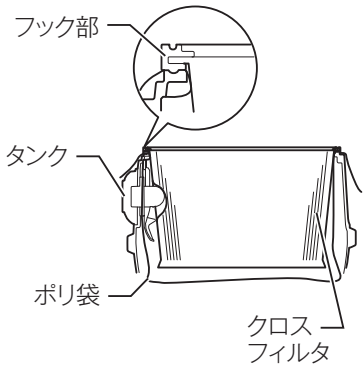
・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

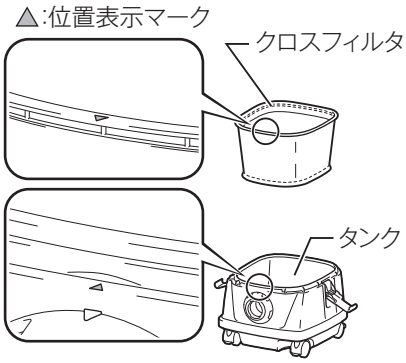
湿式でご使用になる場合は、フロート、フロートケイジを装着し、クロスフィルタ、または水用フィルタを併用してください。また、フロートケイジとフロートの取り付けは、ご自分でなさらないで必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

クロスフィルタの取り付け方

・ クロスフィルタをタンクに取り付ける際は、クロスフィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。



・ クロスフィルタは位置表示マークを合わせてタンクに取り付けてください。

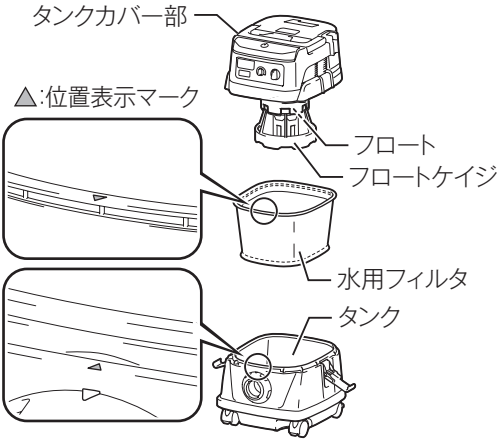


注

- クロスフィルタは乾湿両用フィルタですので、吸水時にも取りはずさないでください。ただし、繰り返し大量に吸水する場合はクロスフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。
- 紙パックを使用するときは、クロスフィルタを併用してください。

水用フィルタの取り付け方

- 水、湿ったゴミを吸引する場合はクロスフィルタの代わりに水用フィルタを使用してください。
- 水用フィルタをタンクに取り付ける際は、水用フィルタのフック部がタンク口元にしっかりかかるようにして、すき間があかないようにしてください。
- 水用フィルタは位置表示マークを合わせて取り付けてください。



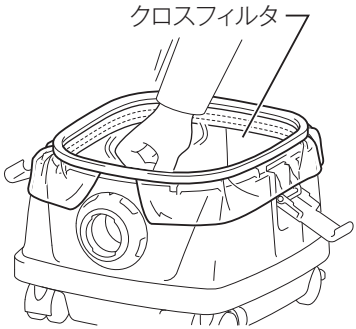
⚠ 警告

フィルタのお手入れの際には必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。
・ 感電やけがの原因になります。

クロスフィルタのお手入れ

・ フィルタの目づまりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着したほこりはこまめに取り除いてください。
・ チリ落としの方法は、クロスフィルタ内側を手で軽くはたいてください。
・ クロスフィルタは、ときどき水でもみ洗いをし、陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



注

・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
・ クロスフィルタは、目づまりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

紙パックの取り付け方

⚠ 警告

紙パックの取り付け、取りはずしの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。

・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

紙パックを使用するときは、標準付属品のパウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタを併用してください。

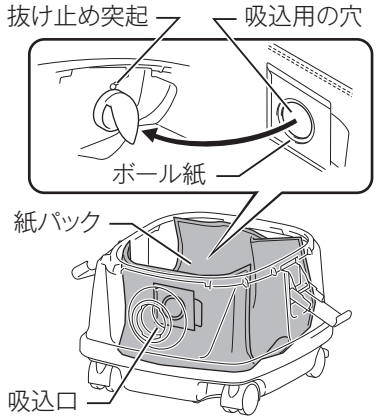
・ 紙パックが破損したとき、モータにゴミが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

・ 破れる原因になります。

・ 紙パックを広げます。
・ 紙パックの吸込用の穴を本製品の吸込口に合わせます。図の矢印方向へ、紙パックのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるように、しっかり挿し込んでください。



保守・点検について

⚠ 警告

お手入れの際には、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと、感電や事故の原因になります。

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- **水洗いは絶対にしないでください。**
  - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

保管場所について

・ 保管する際は、本製品からバッテリを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
×お子様の手が届いたり、持ち出せる所
×直射日光の当たる所
×軒先など雨がかかったり、湿気のある所

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881F01E1
IWT